

令和4年度第1回鳴門市総合計画審議会 議事概要

日時 令和4年5月12日(木) 14時00分～14時50分

場所 うずしお会館 2階 第一会議室

出席者：(審議会委員23名)

恵美委員、江本委員、大岩委員、小川委員、勘川委員、木原委員、齋藤委員、佐古委員、佐々木委員、佐藤委員、曾良委員、田村委員、富田委員、長野委員、濱田委員、平野委員、福山委員、藤村委員、前田委員、益岡委員、松本委員、村澤委員、矢野委員

(鳴門市関係者14名)

泉市長、谷副市長、小泉政策監、大林行政改革推進監、長谷川事業統括監兼企画総務部長、西上環境共生部上席理事兼環境共生部長、小椋市民生活部長、池田健康福祉部長、三栖都市建設部長、阿部産業振興部長、山下消防庁、三居企業局次長、小川教育次長、東條議会事務局次長
事務局6名

傍聴者：(報道記者1名)

会議次第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 諮問
- 5 会長挨拶
- 6 議事
 - (1) 第七次鳴門市総合計画策定について
 - (2) 市民意識調査結果について
- 7 その他
- 8 閉会

会議資料一覧

- 【資料①】 第七次鳴門市総合計画策定について
- 【資料②】 第七次鳴門市総合計画策定スケジュール
- 【資料③】 市民意識調査報告書
- 【資料④】 鳴門市総合計画審議会委員名簿
- 【資料⑤】 鳴門市附属機関設置条例
- 【資料⑥】 鳴門市総合計画策定に関する要綱

会議経過

- 1 開会后、市長挨拶。
- 2 各委員及び市出席者を司会より紹介。
- 3 委員の互選により、会長に佐古委員を、副会長に西川委員及び矢野委員を選任。
- 4 第七次鳴門市総合計画策定について、市長より審議会へ諮問を行った。
- 5 佐古会長のあいさつの後、鳴門市総合計画策定に関する要綱第8条第2項の規定に基づき会長が議長として会議を進めた。
- 6 議事（1）について、事務局が資料①②の説明を行った。
- 7 議事（2）について、事務局が資料③の説明を行った。
- 8 閉会

主な質疑等、議事の概要は以下のとおり。

◆議事（1）第七次鳴門市総合計画策定について

※資料①②に基づき、第七次総合計画策定について事務局から説明。

【委員】

今回から委員として会議に参加しており、現行計画を1年延長した経緯がよく分からないため、詳しく説明をお願いしたい。

➡事務局) 多様な意見徴収のためにワークショップなどを開催することが昨年はコロナの影響により難しかった。

また、市のまちづくりの基本的な方向性を定める「鳴門市都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」など、他の重要計画と開始時期を合わせることにより、上手く整合性をとり、計画の明確化を図ることを目的として、現行計画を1年延長した。

◆議事（2）市民意識調査結果について

※資料③に基づき、市民意識調査結果について事務局から説明。

【委員】

市民意識調査の問24「路線バス利用で困っていること」について、「その他」の理由の詳細を教えて欲しい。手持ちの資料で分からなければ、後日お聞かせいただきたい。

➡事務局) 後日詳細についてお示しさせていただく。

※「その他」の内訳は別紙のとおり

【委員】

市民意識調査において8割が市に住み続けたいと考えているように、人は生まれた場所での永住を希望するものだと考える。行政に頼り切りではなく住民が地域で活動でき

る、人と人とが密接に関わる社会にしていった欲しい。

➡**長谷川事業統括監**) 様々な行政サービスの前提として、地域のつながりが重要であると認識し、運営に繋げていく。

【委員】

市民意識調査の回答者の年齢構成が高齢者の比率が高い。若い世代の意見が反映されていないかもしれない。若い世代が回答に協力出来ないという現状を考慮するべきである。

➡**事務局**) 60歳以上の方の回答が半数を超えていることは認識している。今回のアンケート結果を十分に尊重しながら、若い世代の意見をいただく機会を確保するため、ワークショップや高校生への意見聴取などを実施し、多様な世代の意見を計画策定に反映させたい。

【委員】

暗い箇所には街灯を設置していただきたい。

また、コロナの影響により日独の交流が3年間ストップしている。鳴門市ほど外国の都市と交流の続いている自治体はないので今後も交流を続けてほしい。

【委員】

路線バスについて、便数があるのに使いこなせていない実情がある。路線図や発車時刻等を利用者に分かりやすく知らせるなど、バス利用の円滑化を図ってほしい。

【委員】

市民意識調査において、避難タワーに関する要望はなかったか。

➡**事務局**) 後日詳細についてお示しさせていただく。

※避難タワーに関する要望(1件)については別紙のとおり

【委員】

ごみ出しのマナーについて。ごみ袋に混ぜてはいけないごみが含まれていると、回収されずシールが貼られていたが、現在の取り扱いを教えてほしい。

➡**西上環境共生部上席理事**) 衛生面の観点により、長時間放置できないごみについて、やむを得ず片付ける場合がある。ごみ出しのマナーについては、今後も啓発に努めていきたいと考えているのでご理解いただきたい。

【委員】

上勝のごみ分別の事例は全国的にも評価が高く、鳴門市においても学校教育や社会教育の場で推進していく必要があると考えているが、そのような構想は持っているのか。

➡**小川教育次長**) 市内の学校では、平常時にも環境教育やごみの分別を実施している。

また、社会教育分野においても、環境に関する各講座を実施し、ご家庭でのごみ分別についてお願いしているところ。

ご指摘を踏まえ、教育委員会として更に何が出来るかについて今一度検討したい。

■市民意識調査 問24 「路線バス利用で困っていること」のうち、「その他」(94件)に分類した回答の詳細は次のとおり。

回 答 内 容	回答数
あまり利用していないので分からない	39
特になし	14
便数が少なく、待ち時間が長い	5
路線が偏っている 必要なところを走っていない	4
バスとJRの乗り継ぎが悪い	3
わかりやすい時刻表が欲しい	3
時刻表通りにこない 時刻表通りに着かない(渋滞時間でなくても)	2
不便な印象がある	2
乗り継ぎが分かりにくい	1
バス停までが遠い	1
停まってくれない時がある	1
時間が合わない(必要な時間にバスが走っていない)	1
効率を考えた交通方式を見つけてほしい 出来るだけ利用者が困らずに運行回数を減らす(節税のため)	1
現在の利用人数からバスの便数は増やさなくていいと思うが、減便はしないでほしい	1
板野高校が鳴門市の第一校区で、板高生がたくさんバスを利用しているのに、もう少し本数を増やしてほしい。あまり利用していないバスの路線を減らすといいと思う。	1
支払が電子マネーやICカードに対応していないので、スムーズに済ますことができない	1
利用頻度の高い高齢者が利用しやすいシステムを考えてほしい	1
現在の大麻線のうち(池谷～荻原～板東)の区間が道の狭い道路(県道)を走っており危険であり新道路を走ってはいかがか	1
道幅ギリギリに走行していて危険 道路幅で制限があるといい	1
北泊と引田に行くバスの時刻がよく似ている	1
徳駅⇄鳴門を結ぶ路線バスも欠かせない。鳴門市内循環のバスも。同時にタクシー補助制度も必要。高齢化を考慮、一人暮らしの高齢者の方々への利便性の充実化への配慮が大切なご時世(コロナも)	1
荷物が多いと自動車移動になってしまう 自転車を載せられるバスがあるといい	1
バス停で乗るのではなく、手をあげたらその場所で乗せてもらえるようにしていただきたい	1
利用者が少ないにもかかわらず、路線を維持して下さってありがたく思っています。しかし現状の維持は難しく、近い将来大きな決断をする時がやってくると思います。	1
ほとんどの人が利用していない。運行費、維持管理費、職員給与の無駄	1
現実的に考えて期待していません	1
現役世代には全く使えない。時間の浪費になる。	1
今日まで利用していないが来月から利用する(免許返納のため)	1
孫をつれ乗ってみましたがお年寄りの足となっていますね	1
市職員による実体験をされてはいかがですか。月1回通勤時に路線バス、JR等公共交通機関を利用して欲しい。	1
計	94

■市民意識調査における避難タワーに関する要望(1件)は次のとおり。

公園等々に避難タワーを造ってほしいです。(市民意識調査13. その他(自由意見等))